



# カワセミ通信 No.100



## 1月

発行：彩湖自然学習センター 発行日 H31. 1. 5

## あけましておめでとうございます

ひごろよりさいこしぜんがくしゅうセンターの活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。本年も楽しい講座、楽しい展示を目指して活動していきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、毎日寒い日が続いていますね～。晴れた日のセンター周辺は北風が強く、外での作業はいつも涙目になります。でも、そんな日は富士山がとてもきれいに見えて、今日も一日がんばろう！という気分になります。



わたしの冬の楽しみは冬鳥の観察です。ミニ彩湖周辺で作業をし



ジウビタキ オスはきれいなオレンジ色。おじぎをするような仕草も特徴

していると、あちこちから野鳥の鳴き声が聞こえてきます。「ヒッ、ヒッ、ヒッ」と高く澄んだ声で鳴くのはジウビタキ。オレンジ色のきれいな鳥です。「クエ、クエ」と聞こえたらツグミ。胸の鱗模様が特徴です。葦原の中から「チュ、チュ」と聞こえたらオオジュリン。葦の茎に潜む虫を食べています。その他、ピンク色の

ツグミ 姿勢よく「あちむいてホイッ」と振り返る姿がかわいい

ベニマシコ、ちょっと怖い顔をしたシメなど、冬にしか見られない鳥たち



シメ 太くて短いくちばし、目の周りの黒いふちどりが強そう

しが寂しい冬を楽しませてくれます。冬はエサが少ないため、鳥たちは食事に夢中で警戒心が薄く、また木々が葉を落としているので姿を確認しやすいなど、野鳥観察には最適なシーズンです。

センターでは双眼鏡の貸し出しも

行っていますし、スタッフがいるときは周辺の案内も可能です。ぜひ野鳥を見に、遊びにいらしてください (A)。



オオジュリン 葦の茎につかまって茎を割り、中のカイガラムシなどを食べる

# こうざあんない 講座案内(2月)

2月10日(日) ※雨天実施

## 「彩湖周辺の野鳥観察：晩冬」

今年度最後の野鳥観察会です。北へ戻る準備を始めた冬鳥たちを観察する最後のチャンスです。水辺で水鳥のオスの求愛行動を観察できるかもしれません。どなたでもお申込みいただける観察会です。ご参加をお待ちしております。



○対象：誰でも(小学2年生以下は保護者同伴)  
定員 20名

○時間：10:00～12:00

○参加費：50円(資料代)

○持ち物：双眼鏡(貸出可)

※彩湖周辺は風が強く、非常に寒いです。防寒対策を万全にしてご参加ください。



2月17日(日) ※雨天実施

## 「竹を使ったものづくり」

道満でとれた竹で竹細工に挑戦しましょう！  
道具の使い方を練習しながら、思い思いの作品を作ります。コップ、貯金箱、おもちゃなど、1本の竹からいろいろな作品が作れますよ。



○対象：小学生以上の親子 定員20名

○時間：10:00～12:00

○参加費：50円(資料代)

○持ち物：軍手、作品を持ち帰る袋



☆申込方法：彩湖自然学習センターへ電話でお申込みください。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。なお、お申込みは各講座の1か月前の10時から受付します。

※問い合わせ・受付時間 TEL:048-422-9991 10:00～16:30

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)をご覧ください。